

「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」に参画

～スマートフォンで自然災害リスクを確認し、避難時の行動を学ぶ～

日本損害保険協会関東支部群馬損保会(会長：納堂 信明 損害保険ジャパン株式会社群馬支店長)では、ハザードマップの普及と防災意識の向上を目的とする群馬県の防災の取り組みに賛同し、同県が実施する「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」に協賛しました。

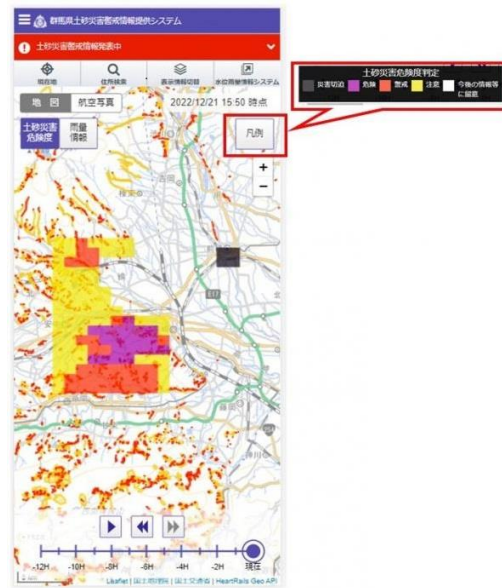
群馬県では、スマートフォン上で手軽に自宅や生活エリアの災害リスクや避難所の位置等を確認し、災害時に適切な避難行動を学べるよう、都道府県公式LINEアカウントを用いた全国初の試みとなる「ぐんま大雨時デジタル避難訓練」を2022年6月1日から配信を実施しています。第1回のアンケート結果においても、「防災意識が高まった。」と答えた人が93%と高い効果がありました。

当損保会では、同県からの協力要請を受けて、継続的な防災意識の向上に資する取組みとして、本事業は高い効果が期待できるものであることや、県とのより一層の緊密な関係構築に寄与するものであることから、協賛を行ったものです。同時に、会員会社においても同訓練に参加するとともに、ポスター掲示や関係者・お客様等にチラシを配布するなど周知に協力しました。

関東支部では、今後も行政等と連携して、自然災害リスクの啓発と事前の備えの促進に関する取り組みを行っていきます。



啓発ポスター・チラシ



スマートフォン画面
(土砂災害危険度ハザードマップ)

■ 関連リンク：ぐんま大雨時デジタル避難訓練（群馬県ホームページ）

<https://www.pref.gunma.jp/page/11356.html>